

事務局体制の確認

選択 **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者はいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

選択 **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択 **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容

選択 **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容

選択 **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択 **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

選択 **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
<input checked="" type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input checked="" type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない
内容	

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input checked="" type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない
内容	

受付番号

171

グループ名称

東海道こだわりの家づくりの会

様式3

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店への優先サポートの実施
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
<input checked="" type="checkbox"/>	各種認定取得サービスの活用提案
<input type="checkbox"/>	施工管理・施工検査のサポート
<input checked="" type="checkbox"/>	営業支援（提案書作成・営業同行）
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による交付申請書類作成支援
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による実績報告書類作成支援
<input type="checkbox"/>	特にサポートは行っていない
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
<input type="checkbox"/>	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
<input type="checkbox"/>	地域の街並みの継承を意識して対応する
<input type="checkbox"/>	地域の住まい方の継承を意識して対応する
<input type="checkbox"/>	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択	災害発生時・発生後の対応について
<input checked="" type="checkbox"/>	特に取り決めていることは無い
<input type="checkbox"/>	取組みを行っている

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受る

受付番号

171

グループ名称

東海道こだわりの家づくりの会

グループの取組み等PRポイントについて

コロナ等の環境変化により、住まい環境の整備が必要になってきている。住まい手に対して、これまで以上に新たなライフスタイル、快適な生活、機能性を考えた空間造りを提供、また建物性能で重要な省エネ・耐震性を高めていく。省エネに関しては、カーボンニュートラル達成に向けZEH基準を推奨していく。そして住まい手の理解度を高めるために「わかり易く」説明できるツールの作成、それを活用し設計・施工会員は確実に説明できるように知識の習得等を強化して、会としての省エネ意識また技術向上を進めていく。また、災害に関する対策強化を考え、具体的にレジリエンス性・防災性を高める為の対応商品を選定し採用を推奨する。

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

云として、地震・省エネ対策、また防災性を考えた住宅性能の向上に努めていく。性能等級で縛るのではなく、新しい技術の導入により、安全性・快適性を求め、住まい手の満足いく住宅を提供していく。耐震性に関しては、省エネ関連荷重を考慮しての計算を実施し安全性を高めていく。また地震対策として耐震性強化だけでなく、繰り返し発生する余震対策に制震装置の採用を推奨する。省エネに関しては認定住宅の基準UPに合わせ、ZEH基準以上を目指す。創エネ・省エネ向上のベネフィットとして、健康効果、レジリエンス、光熱費削減を住まい手に訴求し、より高みを目指して進めていく。

またそれにプラス、「蓄える」を意識して、蓄電・貯水の提案も実施し、防災性・レジリエンス

地域型住宅における地域材の活用について

木材の材料調達は回復してきているが、社会情勢により、構造用合板、羽柄材の供給に不安な要素がまだある。また今後も構造用集成材の供給が不安視されていることから、今年度も合法木材の使用を主要構造部の50%以下でも可とする。その状況悪化を防ぐため、事務局は会員の地域材供給事業者の、木材入荷状況・在庫状況・工場稼働状況等の情報を発信・共有し、施工事業者との工程調整等実施する。また、打合せ時に、合法木材の供給ルートの確認、構造設計者と連携で、計算書にある樹種強度と相違ないように体制強化を図る。

地域材の加工に関しては、仕口強度を高めるための金物工法の提案、羽柄材の寸法規格の統一によるコスト低減提案等、性能・コストの管理も実施する。納材後、最終出荷者のプレカット事業者

引き渡し後の維持管理について

前年同様、住まいの引渡し後も、住まい手のライフサイクルに合わせてのリフォーム、また劣化による改修等、住まい手の成長と同じく住まいの成長を見守ることを目的に、施主と施工会員が相互に30年の維持保全点検を実施するよう定める。そして、事務局は物件データを管理し、点検時期には施工会員への案内を実施する。また、火災保険、住設機器の保証延長サービス等、住まい手にお得な商品のご案内で、メンテナンス負荷の軽減を進めていく。

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

消費者相談窓口がある



<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	東海道こだわりの家づくりの会			
R3採択グループ番号	10	-	0084	- 0384

F: 交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目			
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施
<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)	<input type="checkbox"/>	その他

(1)-6 : モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目	
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が実施
<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他

(1)-7: モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	5	0.59	104	21	<input checked="" type="checkbox"/>	6.3				
2	6	0.59	105	25	<input checked="" type="checkbox"/>	5.04				
3	7	0.59	121	28	<input checked="" type="checkbox"/>	5.04				
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1: 導入する省エネ手法をお答えください

選択項目	
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム
<input type="checkbox"/>	地熱利用
<input type="checkbox"/>	その他

(2)-2: 現在の運用をお答えください

選択項目	
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない